

マーケットの動き（2024年10月28日～11月1日）

先週の国内株式市場は、前週末比で上昇しました。  
週前半は、国内政治の不透明感による株価下落局面は通過したとの見方や米半導体株高などを受け、国内株式市場は上昇しましたが、週後半は、米ハイテク株安や31日の日銀金融政策決定会合後の記者会見での植田日銀総裁の発言から追加利上げ観測が強まったことで株価は下落し、上昇幅を縮めて週を終えました。

投資環境見通し（2024年10月）

国内株式相場は次第に下値を切り上げる展開

企業業績については、円高の動きが輸出企業の先行きに対する懸念材料とみられますが、堅調な設備投資や実質賃金がプラスに転じたことを受けた個人消費の回復を背景に、全般的に改善傾向が続くとみています。国内株式相場は、賃金の上昇が個人消費を支える中、FRB（米国連邦準備制度理事会）による大幅利下げを受けた米国景気が軟着陸するとの見方も支援材料とみられ、次第に下値を切り上げる展開になるとみています。ただし、日米政局を巡る動向次第で変動率が高まる可能性はあります。

|               | 11月1日     | 騰落率   |        |        |        |
|---------------|-----------|-------|--------|--------|--------|
|               |           | 前週比   | 1カ月前比  | 6カ月前比  | 1年前比   |
| TOPIX（東証株価指数） | 2,644.26  | 0.99% | ▲1.73% | ▲3.12% | 14.44% |
| 日経平均株価        | 38,053.67 | 0.37% | ▲1.55% | ▲0.58% | 20.42% |

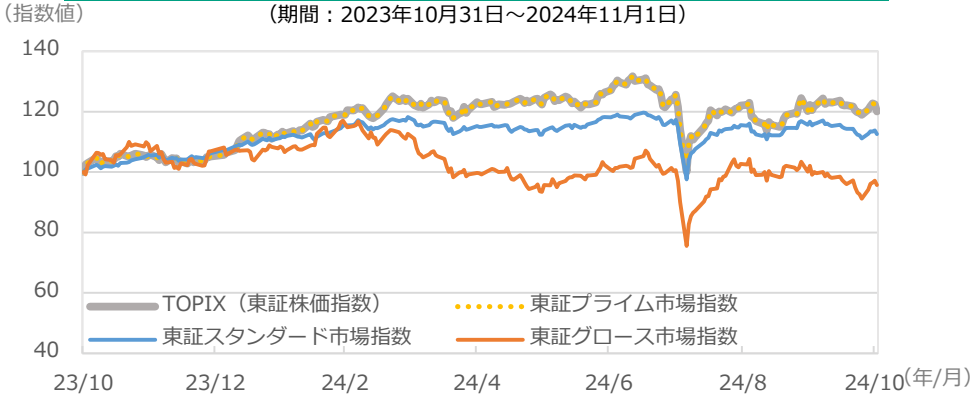
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。  
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202410\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202410_outlook.pdf)

日経平均株価、TOPIXの推移



東証市場別指数の推移



※2023年10月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>